

女乙ハ



ご挨拶

南砺市議会議員 才川昌一

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、皆様からの温かいご支援をいただき、再び市議会議員にさせていただき感謝いたします。改めて初心に帰り市政発展に努力する覚悟です。

さて、昨年は、コロナ禍に見舞われ、これまでの生活が一変することになりました。

市ではこのことにいち早く対応すべく、国からの臨時交付金十二億円を活用し、市民の不安を少しでも緩和するために独自の感染症対策事業（子育て世代への支援金・上下水道基本料金100%減免や市内事業者への支援など）に取り組み、議会でも毎月のように臨時会を開催し、事業の推進に努力いたしました。早急な終息を望むところですが、必要とされる対応を確に行うことが重要だと考えています。又、議会では議会改革特別委員会において、通年議会の導入・決算予算特別委員会の設置・議会による事業評価や政策検討会議の設置など、議会改革に取り組んでまいりました。

しかし、何といっても市の一番の課題は歯止めのない人口減少です。そのために、行財政改革を進めることが肝要であり、地域においては地域づくり協議会を中心として、住民自治の在り方をさらに模索し、将来に向けた取り組みを活性化することが必要であります。市政の課題は山積しておりますが、真摯に向き合い、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

これからもご指導ご支援いただきますよう、よろしくお祈りするとともに、地域の皆様の今年一年のご多幸をご祈念申し上げます。

五年の

新年を迎えて

がんばりたいこと



杉森 咲来
(平成21年生)

私はがんばりたいことが二つあります。一つ目は、算数です。私は算数が一番苦手です。六年生になると中学校に入るための準備で、ますますむずかしくなるからです。

二つ目は、習い事です。私は、学研とピアノを習っています。

学研では苦手な算数と英語を特にがんばりたいです。ピアノは一生けんめい練習をして、きれいな音でスラスラひけるようになりたいです。

六年生になるので、学校生活では下の学年のお手本になるような行動を心がけたいです。



岩崎 美琴
(平成21年生)

私は、今年小学校の最高学年になります。去年は、新型コロナウイルスの影響で、運動会などの楽しみにしていた学校行事がたくさんなくなりまして。運動会も学習発表会も小学校では

最後の行事となるので、どんな形で開催になるかわかりませんが、悔いの残らないよう精一杯頑張りたいです。

また、今まで続けてきたサッカーの試合もなくなったりしました。今年も新型コロナウイルスに負けず、サッカーや学習なども頑張りたいです。今年から弟が一年生になるので、良いお手本になりたいです。自分自身も成長し、充実した一年となるようにしたいと思います。

変化の一年を経て



宮嶋 隼也
(平成9年生)

大学を卒業し、社会人一年目として迎えた昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大によってあらゆる生活様式が変化した一年となりました。私も大学の友人たちと計画していた卒業旅行が取りやめになり、それ以降、直接会うことができておらず、菌痒い思いをしました。一方で、最近インターネットを通じたオンライン飲み会がブームになったこともあり、私自身も友人とオンラインで集まって話す機会が増えました。コロナ禍で直接会うことができないのは残念ですが、このような形で集まれる友人がいる事をありがたく思うと同時に、人との繋がりの大切さを改めて感じられるきっかけとなりました。

今回気付いたことを忘れずに、次の丑年を迎える頃には、今よりも深く豊かな人間関係を築けるように過ごしていきたいと思っています。

感謝を忘れずに



久恵 有希子
(昭和60年生)

何でもない一日を有り難いと思う。そう思えるようになったのは、結婚し、子供ができて親になり、守りたいものができてからのように思います。

早いもので四回目の丑年を迎えました。二〇二〇年は、暗いニュースや出来事を耳にすることが多く、その度に今ある当たり前の日々が、当たり前ではなくなりました。自分にとって如何に有り難い日常を送っていたかということに気がかされます。

二〇二一年は、そんな当たり前のことに感謝の気持ちを忘れず、助け合い、支え合い、思いやりの心をもって、妻であること、母であることを楽しみたいと思っています。

ゆっくりな私ですが



村松 明子
(昭和48年生)

丑年の性格について、調べてみました。私の場合良い点は悉く該当せず、悪い点(行動が遅い、頑固であるなど)だけは身に覚えがあります。しかし、努力家・誠実・堅実などの素質はあるはず(願望)ですが、家族が幸せに過ごせるよう少し頑張ってみようと思えます。どうか寛大な心をもって見守って頂きたいです。

井波に嫁いで何もかもが初めて尽く

しの十八年、子育て中心の年月でした。娘たちも高校生になり巣立ちへのカウントダウンが始まっているように感じます。嬉しいような悲しいような。どれほど時間があるかわかりませんが、精一杯関わっていききたいと思えます。

健康第一



谷田 勝孝
(昭和48年生)

今年、年男という人生の節目を迎えました。子供が大きくなるにつれ、仕事以外では体を動かすことも少なくなり、年々の衰えを感じておりました。しかし、昨年の猛暑が例年より体にこたえ、以降、日々少しでも歩くことを心掛けています。年齢を止めることはできませんが、次の年男までの間、健康第一に、常に新しいことへの挑戦や自身と関わる様々な方々への感謝を忘れず、自分自身を成長させていきたいと思っております。

三度目の成人式



吉田 智花香
(昭和36年生)

子供が十歳の時に二分の一人成人式が学校で行われ、今はそんな行事もある

のかと思つたものでしたが、その子が今年成人式を迎え、今度は自分が三度目の成人式を迎える事になりました。発として祝う選暦式とも言つて、第二の人生？って何、自分ではまだ第一の人生も終わってないと思つているし、まだ気だけは若いつもりでいます。以前は六十歳はとも年寄りな感じがしていたものです。でも、いざなつてみると年々身体がついていかないう事、出来ない事、物忘れ等が多々あり、年相応だと実感させられます。前は出来たのにと、過去を懐かしみ振り返るばかりでなく、常に前向きに向上心を持って、何があるか分からないう世の中、今できる範囲で今日を精一杯生きて行こうと思つています。

また、コロナ禍で行動が制限されている今、働き方や暮らし方をうまく変えて、コロナ禍がきっかけで良いこともあったと思えるようにしたいです。その為にも健康でいる事が一番、自分の健康に責任をもって日々を過ごして行こうと思つています。四度目の成人式を目指して：

今年「辛丑」



高 嶋 典 之
(昭和36年生)

今年の丑年は、インターネットで調べると「辛丑」(かのとうし)だそう。ご存知の通り、干支は十干と十二支を組み合わせた六十周年を周期とした数詞ですが、今回初めて自分が「辛丑」生まれであることを知りました。このことが選暦を迎える所以です

が、干支と十二支が本来は違うということとは案外知られていないのではないかと思います。(私だけかも?)今年丑年を迎えられた皆様も、改めてご自身の干支を確認されてはいかがでしょうか?

最近の想い



山 田 一 夫
(昭和24年生)

令和になり七度目の年男を迎えました。最近テレビを見ていても俳優、タレントの名前がなかなか思い出せないこととか、体力、視力の低下が目に見えて衰えてきた様に感じます。そんな中、老人の交通事故多発中にも拘らず、若い時からドライブ好きの癖が治らず、運がよかったのか無事故で九州阿蘇山のやまなみハイウェイへ二度行ってきました。高速道路のサービスエリア巡りを数回友人らと楽しんで来ました。

現在、ご縁があり地区社協の世話をさせてもらっています。昨年はコロナ禍になり、年間行事が大きく削減され、思うように活動ができなくなりました。盆明け頃よりコロナが落ち着きを見せ、全員体操、将棋、卓球、サロンなど毎週開催、また、地域の方々に米寿祝状贈呈訪問、高齢者歳末見舞い(赤飯の配布)等制限がある中で活動をして来ました。しかし、今年に入り感染者が激増しており、今後の行事に影響を及ぼさない心配です。今後も会員の皆様のご理解、ご支援のもと、一人でも多くの方々が気軽に参加してもらえらる様に、役員の一員として社協の発展に頑張りたいと思つています。

感謝を忘れずに



埴 生 優 美 子
(昭和24年生)

昨年はコロナ禍によって行きたい所にも行けない。逢いたい人にも逢えない。これまで当たり前だと思われていた日常は一変しました。改めて、健康・命・家族・語れる仲間がいる事の喜びを感じさせてくれた一年でした。先日、大雪の朝、除雪車が来なくて仕事にも行けず大変な思いをしました。近所の方にも手伝っていただき、なんとか動く事が出来、子供は仕事に行きました。近所の方やいつも来てくれる除雪車のありがたみを感じました。

幼い時は、テレビもお風呂もなく近所へ行っていました。車も電話もなかったのが今では一人一台携帯を持つ時代になり、私達の生活はずいぶん変わりました。新しい年を迎えても、感謝の気持ちをお忘れず、何事にも前向きでいきたいと思つています。

今年もよろしく



富 田 ミ ャ コ
(昭和12年生)

昨年の暮、不覚にも転んで苦しい体験をしてしまい家族にも迷惑をかけた。八十才を迎えてから一年一年体力知力の衰えを自覚し、今回は気持ちの上

で落込みましたが、八十四才まで元気でいられたことに感謝せねばと思つています。ささやかな畑仕事も出来るかなあと思うのですが、春を待ち桜の下で友達と笑い合えるだけでいいじゃないかと、自分に言いさかせています。地域の皆様今年もよろしくお祈ります。

健康に感謝



小 橋 外 喜 雄
(昭和12年生)

今年、干支の丑年八度目を迎えた年男です。昭和の激動期と平成、令和と長きに渡り元気でいられる有り難さに、あらためて感謝しております。

人生百年時代とは言え、今まで大過なく日暮し出来たのも、多くの方々のご慈愛の賜物です。現役リタイヤして二十余年、趣味で始めた詩吟と多くの仲間との出会いとが功を得てか、健康に恵まれた日々が続いています。

詩吟は詩歌を詠ずることから始め、他に作者の心情、歴史感等々魅せられた過去もありましたが、今は生涯学習の友として楽しく元気を貰っています。今年の新たな節目に当たり、これからも、「適度な頭の体操」「土いじり」「適度なスポーツ」をも意識しながら穏やかに人生を送りたいものです。



コロナ禍での「新年の集い」を迎えて

南山見地域づくり協議会 会長 碓井好彦

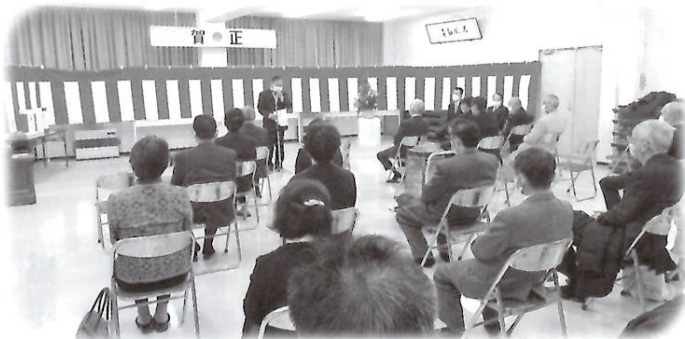
大晦日からの雪の残る中、恒例の「新年の集い」を一月四日に開催しました。新型コロナウイルスの感染を避けて、今年は、参加者を地区内の区長さん、町内会長さん、そして協議会役員と規模を縮小しての開催と致しました。しかも、昨年末に発せられた「富山アラート」を受けて、酒宴なしの集いとなりました。

進行役は、富田豊志副会長です。オープニングは、井波なでしこ会すみれ会の武田東洋子さんと澤田秀子さんによります舞「祝奉節」、続いて井波なでしこ会山吹の会の山崎笑子さん、直江喜美代さん、山本知香子さんによります「古城」でした。どちらも、新春にふさわしい踊りで、参加者の皆が初春の喜びを新たにしました。

次は、協議会長の私からあいさつさせていただきました。協議会発足から三年目を迎えること、事業についてはコロナ禍の影響が大きくなかなか軌道に乗れないこと、そんな中にあること、年度末で役員の任期が切れるので、四月の総会までには、次期の新役員を選出しないことなどを話し、終わりに、南山見地区みんなの心をひとつにして「さらなる明るい地域づくり」へ歩みだしましょうとあいさつしました。

続いて、来賓祝辞をいただきました。南砺市議会議員 才川昌一様からは、ご自身五期目となる当選のお礼、通年議会へと改革されたこと、コロナ禍にあってもみんなでお互い助け合おうと知恵を出し合い工夫しながら地域づくりに努めていきたいと思いますとお話いただきました。社会福祉法人マーシ園新理事長 中島眞市様からは、昨年九月から前島田理事長に代わって就任されたこと、日頃から地区の皆さまからご理解ご支援いただき有り難く思っていること、これからもマーシ園は地区の一員として連携・協力していきたいと思しますので、皆様のご理解をいただきますと話されました。

最後は、事務連絡として、二月中に、次期協議会役員選出にかかる区長会と町内会長会を開催することをお伝えして、終了しました。



美しいチューリップが 咲き誇ることを願って



花と緑の銀行 頭取 田中一昭

昨年11月26日午前中に、花と緑の銀行の頭取とグリーンキーパーが集合し、交流センターのプランターにチューリップの球根を植えました。昨秋は、春に植えたペゴニアやマリーゴールド等の花持ちが良く、11月になっても枯れなかったのが、約1か月遅れて球根との植え替えをしました。

コロナ禍であるため、児童クラブの皆さんと一緒に活動できなかったことは大変残念でしたが、球根が無事に育ち、春には色とりどりの美しいチューリップの花が咲き誇るのを楽しみにしています。



歳末見舞い

地区社協では、昨年十二月五日、一人暮らしの七十五才以上の方と八十才以上の高齢者の方々、百三十名に歳末見舞い訪問を行いました。昨年は、コロナ禍で生活様式が大きく変化した一年でありました。皆様方もコロナから身を守るため、気を引き締めながら家庭生活を過ごされたと思います。このようなコロナ禍のなかで、皆様方が歳末を明るくお元気で過ごされるよう、今回は地元の業者さんに依頼し赤飯を作ってもらいました。そして、おいしいできたての赤飯を役員一同が包装し、作りたての赤飯とウエットティッシュ、励ましのお手紙を社協地区役員、福祉推進員が、お元気で過ごされるように励ましの言葉を交わし、お届けさせていただきました。

どの方にも明るく笑顔で対応していただき、交流を深めることができました。来年度もお元気でコロナ禍を乗り越えて、素敵な笑顔でお会いできるように願います。歳末見舞い品をお渡しいたしました。

(南山見地区社協会長 松井泰範)



カギかけんまいけ!

10/5~10/25

カギかけ防犯キャンペーンの実施



南山見防犯組合では今年度の事業として、「八乙女文化祭でキャンペーンブース」の設置を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症対策で八乙女文化祭が中止となった事から、①各町内の公民館に防犯キャンペーンの旗を掲げる。②交流センター玄関に簡易ブースを設置し旗の掲示や防犯グッズを配布する等を実施しました。カギかけの大切さを再認識する機会となりました。

(地区防犯組合長 山本孝夫)

初の試み「ミニ展示会」

コロナ禍の影響を受けて中止となった、八乙女文化祭の代替事業として「南山見交流センターミニ展示会」を実施しました。期間は、十一月十三日から二十日まででした。次の方々のご厚意により素敵なミニ展示会となりました。

写真 長田 修さん 「バトル」他四作品

山本 孝夫さん 「田んぼがパッチワーク」他四作品

墨 絵 松井 正子さん 「万葉の夢」他一作品

菊花 林 友之さん 「スプレー菊」七鉢

松井 正子さん 「管物七輪立て」等七鉢

八乙女サロン活動 南山見地区社会福祉協議会より

南山見チームへの賞状と盾

第十六回南砺市社会福祉協議会ゲートボール大会 次勝

狭いスペースではありましたが、華やかな展示を来館された皆さんに楽しんでもらえました。展示会終了後も事務室前に各種顕彰状、盾、トロフィーを展示しております。ご来館の際はぜひご覧ください。

(交流センター管理者 碓井好彦)



12/6 はつらつ公民館学び支援事業 (県委託事業)

里いもおはぎ弁当作り

今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、交流センターでの子ども達とのふれあい事業がすべて中止となりました。

そのため、子ども達に「里いもおはぎ弁当」を作ってもらえないかと南山見食改に依頼があり、3密に注意しながら地元伝統料理の「里いもおはぎ」「ゆべし」、地元食材を使つての「かぼちゃサラダ」「さつまいもとりんごの重ね煮」、子ども達の大好きな「鳥の唐揚げ」の5品を調理し、可愛い容器に詰めました。

出来上がった弁当は、児童代表2名に贈呈し、地区の子ども達へは、児童クラブの役員にそれぞれの家庭へ届けてもらいました。早くコロナが終息し、いつもの生活が戻ることを祈っています。

(南山見地区食生活改善推進協議会 林 律子)



(生け花クラブ 山崎貴美江)

生け花クラブでは、毎月一回(二月を除く)第三金曜日を練習日として南山見交流センターの第一研修室で、小原流師範の大西先生からいろいろな生け方を習っています。
丸や長方形の水盤に広々とゆつたり生ける時や、縦長の坪型花瓶に前後左右に伸び伸びと生ける時、小ぶりな鉢のような容器にたくさんの花や葉を賑やかに生ける時もあります。
季節に合わせて材料の種類が変わり、春には桃の枝や菜の花、夏には百合や鶏頭、秋には：と挙げればきりがありません。勿論洋花も多くアルストロメリア・リアリス・オクラレウカなど名前も覚えきれません。
練習後家に持ち帰って生けるのですが、教わった通りに生けているつもりがなかなかそうはいかず、いつも首を傾げて終わります。
それでも、これからも生け花クラブで、花がある心とむひと時を味わっていきたいと思います。

生け花クラブでは、毎月一回(二月を除く)第三金曜日を練習日として南山見交流センターの第一研修室で、小原流師範の大西先生からいろいろな生け方を習っています。
丸や長方形の水盤に広々とゆつたり生ける時や、縦長の坪型花瓶に前後左右に伸び伸びと生ける時、小ぶりな鉢のような容器にたくさんの花や葉を賑やかに生ける時もあります。
季節に合わせて材料の種類が変わり、春には桃の枝や菜の花、夏には百合や鶏頭、秋には：と挙げればきりがありません。勿論洋花も多くアルストロメリア・リアリス・オクラレウカなど名前も覚えきれません。
練習後家に持ち帰って生けるのですが、教わった通りに生けているつもりがなかなかそうはいかず、いつも首を傾げて終わります。
それでも、これからも生け花クラブで、花がある心とむひと時を味わっていきたいと思います。

八乙女セミナー 生け花クラブ



防災訓練

去る十月十八日南山見防災会では各町内会代表者及び防災会幹部を対象に防災無線の取扱い講習会を避難訓練の代替えとして開催しました。

令和二年より行政の広報や防災放送のみではなく、地域でも不審者情報や鳥獣情報など、地域の緊急を要する連絡に運用できるようになりました。

迅速に情報を伝達し被害を未然に防ぐよう、大いに活用していただきたいと思っています。

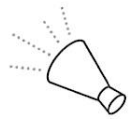
(南山見防災会会長 富田豊志)



南山見女性防火クラブ

三十周年

会長 山本智代



当クラブは、地域の皆様や諸先輩方のご理解ご協力のお陰で、令和二年秋に創設三十周年を迎えることができました。私達はこれまで同様、消防団の方々に支えられ防火活動と共に防災活動に参加しています。住民生活の安全安心を守るにあたり、女性ならではの心遣い、気配りを発揮できればと思っています。

これを機に微力ながら、三十周年記念誌を発行し、救急用タンカを購入しました。いざというときに病人、怪我人、老人などの搬送を私達女性でもできるよう交流センターに備えました。使われることがないに越したことはないのですが、ここぞという時に活用できればと考えます。未曾有のコロナ禍の中、記念行事も行えず心苦しいですが、今までの三十年を振り返りつつ、新しい十年に向かって力強く歩みを始めたいと思っております。

これからもご協力をよろしく願います。



行事予定

2月14日(日) 開催予定の
第32回 南山見地区
「三世代交流の集い」は中止しました。

2月17日(水) 午後7時より
「八乙女講座」は大雪により中止しました。
「結婚活動・空き家対策について」
・地域に若者が戻ってくるように！
・息子・娘が結婚するように！
・地域内に空き家がたくさんあります。
～どうすればよいですか？～

講師 南砺で暮らしません課
女性活躍・婚活支援係 副主幹
早田 朱美氏
定住・空き家対策係 係長
金子 有希氏

3月14日(日) 井波地域成人式
・午前9時 受付 ・午前10時 式典

「顕彰」受賞 おめでとうございます。

富山県エイジレス社会活動推進協議会(会長 新田八朗)から、南山見老人クラブ連合会ベタンク部会の皆さんが顕彰を受けられました。

<顕彰受賞理由>

平成2年頃より、南山見保育園周辺草刈りのボランティア開始。平成10年以降は、除草剤散布を地区のフェスティバル・体育祭・文化祭前に年3回実施し、20年の長きにわたり、地域の環境美化に貢献している。



南山見地域づくり協議会のホームページが開設されています。

ぜひご覧ください。 <https://minamiyamami-kc.7104.info>



スマートフォン用

南山見の商工業の歴史 シリーズ その5

農事組合法人 ファーム八乙女

ファーム八乙女は、先達の並々ならぬ努力により、九年間の準備期間を経て、「二村二農場」を目指して平成十七年二月に設立しました。設立までは紆余曲折の道のりでした。平成八年に農業関係者、営農組合長、JA関係者等で南山見地域営農推進協議会を組織して以来、平成十四年に一村一農場設立検討委員会、翌十五年に設立準備委員会と組織を移行しました。そして、平成十六年に一村一農場基本構想を策定し、南山見地区の各集落に参加の可否を問い、構成五集落によって設立委員会を立ち上げ、役員選考や定款、作付計画及び運営方法等を決定し、設立に至りました。

設立当初は、米作を中心とした土地利用や作業の効率化に努めました。しかし、平成十九年の米価下落により売り上げが減少し、作業の効率化だけでなく、数量を上げる努力や米の加工品及び米以外の作物生産等、複合経営の工夫が必要となりました。試行錯誤を重ねながら、どうにかここ数年安定した経営ができるようになりました。

現在は、院瀬見、沖、東城寺、戸板、川原崎、清玄寺の六集落、一五五名の構成員により組織し、十名の理事、八名の職員で運営しています。何よりも、気候変動に応じた作物の選定、作付計画、圃場管理体制の改善等が必要と考えています。これまでの実績や経験を基に水田をフル活用し、次の目標を掲げて取り組んでいます。

- 一 米の安定した収量の確保 反当五二九kg
 - 二 複合経営（六次産業化）の取組
 - ・ 大麦、大豆、玉ねぎ、人参、園芸作物の収量・収益拡大
 - ・ 餅加工品の売上拡大
 - 三 直売所を活用した季節に応じたイベント開催
- この他、担い手の確保や次世代への引継ぎが大きな課題ですが、様々な環境の中、大胆な改善は難しいと考えています。地道に、地域農業の発展と経営基盤の強化を目指して、魅力あるファーム八乙女にしていきたいと思えます。

(代表理事組合長 田中一夫)



編集後記

毎年、新春号の表紙は、新成人の皆さんをお祝いする成人式での集合写真を掲載することにしているのですが、今年はコロナ禍で南砺市成人式が三月十四日に延期されたため、掲載することができませんでした。

そこで、次の候補として各町内で実施される左義長、または、記録的な大雪で当地区の左義長は全て中止せざるを得ない異例の事態が起こってしまいました。最終的に、富山アラートが出たために宴会を取りやめて実施した、新年の集いの写真を掲載いたしました。舞踊二団体の皆様による初春に相応しいおめでたい踊りと、碓井会長の希望に満ちた新年の挨拶の様子です。会長や来賓の方々の挨拶の中にもあったように、新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、辛丑のこの一年が、当地区や皆様にとって、平穏無事で幸多き年となりますことを祈っています。

この度も、会報「八乙女」一二九号をご愛読いただき、有難うございました。

(編集委員長)

南山見人口

令和2年12月31日現在
()は昨年度 住民基本台帳より
人口は、マーシ園の52名を含みます。

男	436名	(475名)
女	465名	(505名)
計	901名	(980名)
世帯数	266戸	(265戸)

